

令和3年度第1回出雲市地域公共交通活性化協議会議事録

日 時 令和3年8月23日（月）

9：30～11：00

場 所 出雲市役所 市民応接室

出席者 17名

1. 開会

2. 出雲市長あいさつ

この総会の開会にあたり、一言ご挨拶申しあげる。

本日は出雲市地域公共交通活性化協議会を開催したところ、お忙しい中お出かけ頂き、また、この委員をお引き受けいただき心より感謝を申しあげる。

出雲市では、7月の大雨、8月の台風による災害があった。まだ前線が停滞しており、例年に比べ、天候不順の状況が続いている。ご承知の様に、先週は多伎地区の国道9号で地滑りがあり、道路やJRに大変な影響が及び、多くの市民、往来される皆様方にとり、不便な状況である。1日でも早い復旧に向けて、国にしっかりと支援して頂けるようお願いをしていきたいと思っている。

また、コロナの方も第5波が全国的に拡大しており、今どこで起こるのかわからない状況になっている。出雲市だけでなく、県域で物事をとらえ、出雲で出なかったから良いのではなく、松江も大田も西部も出ている事から、この出雲市でも危機感をもって取り組まなければならないと思っている。

そうした中で、ワクチン接種も2回目を終えた方が大体40%という状況と聞いている。高齢者の方については、概ね希望者の方には行き渡ったと思っているが、今後もしっかりと取り組んで参りたい。

本市では、今年度、来年度にかけて、市内を走るバス、鉄道、タクシー等の地域公共交通のマスタープランとなる「出雲市地域公共交通計画」を策定する考えである。本市の公共交通については、マイカー利用の拡大や人口減少を背景に利用者の減少が続いており、それに伴い市の負担も年々増加傾向にある。

平成23年にはバス交通の協議会があり、私はその時、議会の立場で出席させていただいた。それからかなりの年月が経ち、合併してから20年が経とうとしている中で改めてこの地域交通は様々な課題があるかと思う。

今後の本市における持続可能な公共交通、そして新しい取組も含めた計画となるよう、皆様方それぞれの立場からご意見を賜り、提案をしていただきたいと思います。

活発な意見を出していただき、この会議が有意義になるようお願い申しあげ挨拶とさせていただきます。

3. 委員紹介

【事務局】 初めての顔合わせという事もあり、一言ずつご挨拶をお願いする。

～出席委員の自己紹介～

【事務局】 議事の前に協議会の設立に至った経緯、協議会の役割について簡単に説明をさせていただきます。

現在の出雲市は、2度の市町村合併を得て、平成23年10月に現在の新出雲市としてスタートした。この間、合併に向けて色々な事務事業の整理等が行われ、旧市町間のあらゆる業務が整理されたところである。しかしながら、この公共交

通体系は、合併後も、合併前の旧市町の考え方が非常に根強く残っており、現在もその運行形態が継続されている状況である。

本市を取り巻く公共交通は、加速する少子高齢化、マイカーの普及により利用者が年々減少している。一方で、公的負担、いわゆる市の負担は非常に増加をしている。更に、ここ近年運転手不足が深刻さを増しており、公共交通そのものの維持確保が難しい局面を迎えている。

一方で、住民の皆様の移動ニーズはますます多様化しており、現在の仕組みの中ではなかなか耐えきれないという状況である。

しかし、そうした様々な課題を抱えているにも関わらず、出雲市では、全市的な視点での交通系統を描いた計画を策定しないままであった。

こうした中、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が改正され、交通計画の策定が努力義務化された。それを踏まえ、本市としても、今年度と来年度の2か年をかけ公共交通計画を策定することとした。

法律の規定では、計画を策定するうえで地域の住民の皆さん、あるいは関係する各団体の皆さんの積極的な参加が求められており、それを組織化したものが、本日発足を迎えようとしているこの活性化協議会である。

この後、議事の中で協議会の規約、あるいは今後の具体的な事業計画について、改めて提案するが、この協議会は、実施主体であると同時に国の補助金の受け皿でもある。限りある予算を有効に活用しながら、よりよい計画を今後策定して参りたいと考えている。委員の皆様には、協議会設立の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜る様、心からお願い申しあげ説明とする。

【事務局】 委員1名が到着されたため、自己紹介をお願いします。

～委員の自己紹介～

4. 議 事

(1)第1号議案 出雲市地域公共交通活性化協議会規約（案）について

【事務局】 ～資料1について説明～

【事務局】 第3号議案について質問をお受けする。

～質疑なし～

【事務局】 第1号議案について承認される方は拍手をお願いします。

～承認の拍手～

【事務局】 全会一致で承認された。

(2)第2号議案 役員を選出について

【事務局】 先程承認された規約の第5条第1項の規定により会長の選出を行う。

会長の選出についてご意見を伺う。

【委 員】 交通計画の策定にあたっては、交通分野のみならず、まちづくりや福祉観光などさまざまな分野に密接にかかわることが想定される。このことから、事務局はもちろん、市役所内の関係部署や地域の皆さんとの連携をスムーズに展開できる方として、総合政策部の藤原部長にお願いしたい。

【事務局】 他の意見がないため、この提案について承認される方は拍手をお願いします。

～承認の拍手～

【事務局】 全会一致で承認された。

会長が選出されたため、以降は藤原会長に進行をお願いします。

【会 長】 今後の出雲市の交通政策の示す重要な計画策定、検証等を行うこの協議会の会長を仰せつかり身の引き締る思いである。皆様のご協力をいただきながら、より良い協議会にしたいと思っている。よろしく願います。

それでは、副会長と監事の選出に移る。

第5条第2項の規定により副会長1名、監事2名は会長が指名する事となっている。副会長には、斐川地域交通運行協議会会長の高橋様に、監事は出雲観光協会事務局長の稲根様、島根県地域振興部交通対策課課長の土江様に願います。

それでは、高橋副会長は副会長席へ願います。

お引き受けいただいた役員の皆様から一言いただきたい。

～高橋副会長あいさつ～

～稲根監事あいさつ～

～土江監事あいさつ～

(3)第3号議案 令和3年度事業計画(案)・予算(案)について

【事務局】 ～資料2、資料3について説明～

【会 長】 第3号議案について質問をお受けする。

～質疑なし～

【会 長】 第3号議案について承認される方は拍手を願います。

～承認の拍手～

【会 長】 全会一致で承認された。

(4)第4号議案 調査業務について

【事務局】 ～資料4について説明～

ここでバイタルリードから業務の実施方法の説明をしていただく。

【(株)バイタルリード】

配付資料により説明する。わが社は1998年に創業し、こうした交通計画策定等をしてきた。7月1日現在の従業員数は43名だが、また1人増える。わが社の総合計画部では、運行計画等、利用促進、運転手不足の対応なども行っている。情報システム部では、コンサルタントの課題解決の力とITを使って地域の課題を解決していくことも行っている。

中国四国エリアで色々させていただいているが、資料では交通に限った実績を示している。これ以外に中国運輸局、四国運輸局の仕事、島根県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県の5県の方からの仕事を受けている。

特に地方部の公共交通の計画策定を多く受けており、プロポーザルでは日本のトップの大手コンサルタント会社と戦って仕事をしている。その中で、最近は実際に自分たちが作った配車システムで定額制乗り放題のタクシーのサービスを支援するシステムを使って大田市温泉津町井田地区で2019年から実際に運行しており、この度津和野町で10月以降、美郷町で12月に運行を予定している。今回地元で出来るので若干気合いが入りすぎているが様々な経営資源を持っている。交通に係る技術とITの開発、それと合わせて大学等の連携もしており、その学会を来年に松江市の方で開催するという事になり、主催者の一団体として関与する事になっている。

今回の計画にあたっては、20年後まで続く移動環境の実現という事で、10年は持つが、10年経つと大概はできなくなることから、20年先を見据えた計

画を作っていく必要がある。その中で特に出雲市は、市民だけではなく観光客、ビジネス客その辺も対象にしていく必要がある。これまでの公共交通での高齢者、高校生を何とかすればという意識を、これからは一般の方も乗っていただく環境を作っていく必要がある。地球環境、脱炭素社会そういったものを見据えて公共交通中心の暮らしやすい街を是非地元で作っていきたいと思っている。

その中で、コロナで非常に厳しい状況にある交通事業者を守っていくことが今後継続的に続いていく移動環境を守っていく事になるため、利用者だけではなく、関わる事業者がビジネスとして継続していく事が出来るのかを考え、行政のコストが上がっていく中で意味のあるお金の使い方が出来るような計画作りをしていきたいと思っている。

【会 長】 第4号議案について質問をお受けする。

～質疑なし～

【会 長】 第4号議案について承認される方は拍手をお願いします。

～承認の拍手～

【会 長】 全会一致で承認された。

【会 長】 議事は以上となるが、1つ付け加えさせていただきたい。

この協議会は将来の出雲市の交通計画の方針を決める非常に重要な会議である。

また、様々な法律があり、すぐに事業が結びつくというのではなく、いろいろな関係の事業者あるいは、国の関連などが影響する。市としては交通計画については、かなりの予算を出している。皆様方に、共通の認識を持っていただくため、次回は出雲市の状況についての勉強会のような形で進めていきたい。今後複数年に渡って協議会を維持していく第一歩という事もあり、皆様には交通の状況について今一度認識を持っていただければという思いである。どうぞよろしくをお願いします。

意見が無いようでしたら、以上で終わりとする。ご協力に感謝を申しあげる。

5. その他

【事務局】 事務局からお知らせする。

次回の協議会は、12月の開催を予定している。この間に色々な調査業務が進捗する予定でもあり、皆様方と公共交通の基本的な共通の認識をもつため勉強会をしたいと考えている。

ご自身の地域の事はある程度知っておられると思うが他地域の状況についてはなかなか知る機会がないので、全体の状況などの基本のお話しをしたいと思っている。

6. 閉会

【事務局】 以上をもって本日の第1回の総会を閉じさせていただく。